

わかやま

No.31

和歌山県精神保健福祉センターだより 2007年4月

「財団法人 和歌山県人権啓発センターの活動について」

(財) 和歌山県人権啓発センター

当センターは、すべての人の人権が当たり前のこととして尊重される、人権尊重の社会づくりを進めるための最も重要な取組の一つである啓発活動に取り組む公益法人です。

いたわる心、思いやる心、尊敬する心、愛する心・・・それらは、とても大切な宝もの。あなたの心の中にある、そんな大切な宝ものを、もっと磨いたり、たくさん集めてもっとキラキラさせてみませんか。そのために、当センターでは、一人でも多くの皆さんに人権問題への理解を深めていただき、より一層キラキラと輝いていただくためのサポートができるようさまざまな活動を行っています。

それでは、それらの主なものについてご紹介します。

第一に、感性に訴える啓発です。押しつけるだけでは人の心は動きません。まず共感を得ることから啓発が始まります。そのために、学びの場として、参加型の研修のワークショップや、講演会等、その時機に合ったテーマを中心に県内各地で開催し、自ら学んでいただく機会を提供します。さらに、当センターの人権ライブラリーでは人権に関する各種図書、ビデオ、資料等の閲覧室を設けて、誰もが自主的に学べるようにしています。

次に、機会の提供です。人権について考えるきっかけとさせていただくための作文、ポスター、写真、詩の公募を行い、優れた作品については啓発用資料として広く活用しています。また、当センターの人権ギャラリーにおける特別展示などを通じて皆さんに人権について考えるきっかけと素材を提供しています。

なお、例年11月には「ふれあい人権フェスタ」を開催し、人権に係る各種NPO団体等多くの皆さまのご参加をいただき、身近に人権について楽しい雰囲気の中で、考え、体験し、学んでいただき、人権の大切さを知っていただく機会としています。

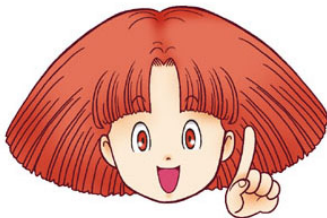
特に今年度は、法務省主催の全国フェスタの和歌山会場として実施することになっています。

次に、情報の収集と発信です。各種NPO団体や国・県等の動きなどをセンターだより「えるふ」の発行や、また和歌山市を中心に路線バスの車体に当センターの存在、人権標語や人権相談の電話番号等を啓発するため、当センターのイメージキャラクターのイラストを描いたラッピングバスの運行等を通じて皆さまに情報を発信しています。

また、人権に関するさまざまな相談について電話相談を実施し、相談者の方が主体的に問題を解決できるよう、適切なアドバイスや専門機関の紹介を行い、毎月第二、第四木曜日には弁護士による法律相談も実施しています。

もちろんこのような活動は、当センターだけでは限界もありますから、各種NPO団体の皆さまとの協働、県・市町村との連携をはじめ、多くの皆様方のご支援があって成り立つものと考えています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

センターのイメージキャラクター『ELE kidds』



人権センター

住所：和歌山市手平二丁目1-2

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2F

事務所電話番号：073-435-5420

人権相談専用電話番号：073-421-7830

もくじ

- P 1 財団法人 和歌山県人権啓発センターの活動について
- P 2 「社会的ひきこもり青年の集い及びフリースペース」ご紹介
- P 3 和歌山障害者職業センターにおける就労支援
- P 4 平成19年度研修等年間予定表
- P 5 メンタルヘルスニュース
- P 6 は一とふるネットワーク「ピア下津作業所 梅本 幸さん」

「社会的ひきこもり青年の集い及びフリースペース」 ご 紹 介

和歌山県精神保健福祉センターでは、「社会的ひきこもり」の方の居場所の一つとして「社会的ひきこもり青年の集い及びフリースペース」を平成19年1月から、毎週火曜日午後1時～4時の間、プレイルームにて開催しています。

当事者の方が自然な形で、他者との時間や空間を共有できるようになることを目的に、活動しています。

現在、4名の方が利用しています。ボランティアの方も2名（5月から4名になります）関わってくれています。

ボランティアスタッフ：いつもにこやかな色白イケメン、元気印のお姫さま・・・。

センタースタッフ：百万ドルの笑顔の美女、20年前の陣内孝則、野に咲く可憐なスマイレ（あくまで自称ですので、皆さん怒らないで下さい）

現在の活動内容は、茶話会、トランプ、UNO、ジェンガ、卓球などを自然な流れの中で行っています。

メンバーの声：楽しく過ごすことができました。

：他のメンバーと話すことができているです。 などなど。

4月3日には、初の野外プログラム和歌山城に花見に行きました。お天気に恵まれ、満開の桜の花に囲まれ、春の季節を満喫しました。

スタッフの声：桜の花に迫力があり、美しさに圧倒されました。しかし、歩くのには少々疲れまして・・・。

現在、利用者を募っております。事前にご連絡を頂き、スタッフが面接させて頂いた上での利用となります。お気軽にご利用下さい。



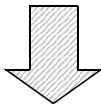
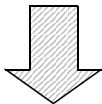
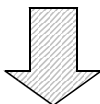
（イメージ写真です）

和歌山障害者職業センターにおける就労支援

～ 精神障害者総合雇用支援の概要 ～

◎ 精神障害者総合雇用支援とは

精神障害のある方（以下「支援対象者」）及び、雇用しようとする又は雇用している事業主の方に対して、主治医との連携のもとで、雇用促進・職場復帰・雇用継続のための専門的な支援を行います。

精神障害のある方【精神障害者保健福祉手帳や医師の診断書等により、躁うつ病、統合失調症その他の精神性疾患を有していることが確認できる方】		
雇 用 前 〈新規雇用・就職に関するニーズ〉	雇 用 後 〈職場復帰に関するニーズ〉 〈雇用継続に関するニーズ〉	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業で働きたい。 ・ 就職に必要な力を身につけたい。  <p style="text-align: center;">雇用促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 就職準備支援 （自立支援カリキュラム） ◆ ジョブコーチ支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休職している会社に復帰したいが、以前のように仕事ができるか不安。体力低下も心配。  <p style="text-align: center;">職場復帰支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ リワーク支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場の人間関係で困っている。 ・ このまま働きたいが…。  <p style="text-align: center;">雇用継続支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ジョブコーチ支援

◆ 就職準備支援（自立支援カリキュラム）

作業支援のほか、対人技能訓練などを通して、障害特性に配慮して基本的な労働習慣の体得、対人技能等の習得のための支援を行います。また、事業所見学や職業講話などを通じて、職業に関する知識の習得のための支援を行います。（期間：12週間以内）

◆ ジョブコーチ支援

雇用にあたって作業習得や職場でのコミュニケーションに不安がある、雇用後に労働習慣や人間関係の立て直しが必要になった等、事業所内での職場適応に課題がある場合に、課題の改善を図るための個別計画を立て、ジョブコーチを派遣することにより直接的に支援を行います。

（期間：1～7ヶ月の範囲）

◆ リワーク支援

休職中の支援対象者の方がスムーズに職場復帰（リワーク）できるよう、主治医や事業主との連携のもと、センター内での支援や復帰予定の職場での作業体験（リハビリ出勤支援）を通じて、職業生活リズムの構築、職場復帰への不安の軽減などの支援を行います。

（期間：概ね12～16週間）

- ・ 生活リズムの構築及び通所等に必要な基礎的な体力の向上
- ・ 作業遂行に必要な集中力、持続力等の向上
- ・ ストレス場面での気分、体調の自己管理及び対人技能の習得

※ 和歌山障害者職業センターは、「働きたい」という障害者の思いに応えられるよう、関係機関との連携を図りながら、取り組んでまいります。

※ ご利用の際は主治医とご相談のうえ、あらかじめ電話・FAX等でご連絡ください。

【 TEL : 073 (472) 3233 / FAX : 073 (474) 3069 】

平成19年度研修等年間予定表

和歌山県精神保健福祉センター

研修等予定月	研 修 名 等	研 修 等 対 象 者
H19年 6月	こころのレスキュー隊隊員実践研修	こころのレスキュー隊隊員
	精神保健福祉新任者研修	精神保健福祉業務に従事して概ね5年以内の担当者
	セルフヘルプセミナー	各団体当事者及び一般県民
7月	こころのレスキュー隊隊員基礎研修	精神医療保健福祉の専門職員、教職員等関係機関職員
	うつ・自殺予防対策シンポジウム	一般県民
	講演会（精神保健福祉協会）	一般県民
8月	こころのレスキュー隊隊員基礎・実践研修	全国のCRT関係者
	思春期精神保健福祉研修	関係機関職員（教育機関も含む）
	嗜癖関連問題研修	精神保健福祉関係者
9月	こころのレスキュー隊隊員実践研修	こころのレスキュー隊隊員及び仮登録者
	社会復帰関連研修	関係機関職員
	こころの健康講座	一般県民
10月	うつ・自殺予防対策研修	関係機関職員
	社会的ひきこもり講演会	一般県民
	精神保健福祉専門研修	精神保健福祉の専門職員
	交流ロビー展	精神保健福祉団体、一般県民
11月	うつ・自殺予防対策研修	関係機関職員
	わかやまこころのフェスティバル	一般県民
	精神障害者ソフトバレーボール大会 （精神保健福祉協会）	選手は精神障害者福祉手帳保持者又は同等の障害を持つ者・ボランティアは一般募集
H20年 1月	ひきこもりサポート研修	ひきこもり支援関係者
	精神保健福祉専門研修	精神保健福祉の専門職員
2月	こころの健康講座	一般県民
ひきこもり当事者の集い（毎週火曜日）		
ひきこもり家族の集い（5月・7月・9月・11月・1月・3月）		ひきこもりの子どもをもつ親
社会的ひきこもり者家族教室（5回／12月～2月）		ひきこもりの子どもをもつ親

和歌山メンタルヘルスニュース

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

社会的ひきこもり者家族教室

1月15日（月）に大学生の野中孝夫さんを講師に、「子どもから親に伝えたいこと」をテーマに行い、15名の参加がありました。

また、1月29日（月）には、精神保健福祉センターの尾崎則子主査を講師に、「ご家族へのガイドライン」をテーマに行い、13名の参加がありました。

こころのレスキュー隊隊員実践研修

1月20日（土）にビッグ愛にて開催しました。「情報管理と情報発信」についての講義及び4グループに分かれてのグループワークを実施し、保護者向けの心理教育用配布資料を作成しました。28名の受講がありました。

2月25日（日）には、ビッグ愛で「学校への緊急支援—こころのケアと配慮すべき点」についての講義と、5グループに分かれてのグループワークを実施し、教員、保護者、生徒への心理教育のための資料作りと発表を行いました。35名の受講がありました。

社会的ひきこもり青年の集い及びフリースペース

1月23日（火）から、精神保健福祉センターのプレイルームで毎火曜日の午後1時から4時の間、開催しています。現在4名程度の参加者があり、ミーティングやゲームなどを行いゆっくりと過ごしています。多くの当事者の方に参加して頂けたらと思っています。心当たりのある方にご紹介頂けたらと思います。

社会的ひきこもり講演会

2月17日（土）に有田振興局会議室において一般県民向けに行いました。第1部が「社会的ひきこもりとは」をテーマに和歌山大学保健管理センター所長の宮西照夫先生に、第2部が「社会現象として見た社会的ひきこもり」をテーマに毎日新聞記者の村瀬達男先生に、講演をして頂きました。大勢の方に参加して頂き、実りのある講演会となりました。

こころの健康講座

2月21日（水）に、和歌山県子ども・障害者相談センターにおいて、「日常ストレスにおける対処法」というテーマで、黒川内科（心療内科）院長、黒川順夫氏を講師に講演会を開催しました。約70名の受講がありました。心理テストや、主人在宅ストレス度チェックリストなどの演習を交えながら、日常生活におけるストレスへの対処法について学びました。

嗜癮関連問題研修

3月3日（土）にビッグ愛会議室において一般県民向けに行いました。第1部が「ギャンブル依存症の疾病と理解」をテーマに北海道立精神保健福祉センター所長の田辺等先生に、第2部が「GA、ギャマノン当事者による体験談」を各当事者にして頂きました。参加者の反響もすばらしく、「是非継続して周知して欲しい」との声が多数聞かれました。



精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。
今回は、ピア下津作業所の梅本幸さんです。

はーとふるネットワーク



ー ピア下津作業所での勤務はどれくらいになりますか？

この4月で4年目を迎えます。あつという間です。

ー 相談員になられたきっかけは？

大学で精神保健福祉を専攻していました。4回生になり、就職をどうするかと考えたとき、〈私〉を必要としてくれる仕事に就きたいと思い、この仕事を選びました。住み慣れた和歌山での就職先を探していたところ、ピア下津作業所で職員を募集していたので、運よく採用してもらえることになりました。ピアとの出会いは何かの縁だったのだと思います。

ー この仕事をしていて良かったと思う時はどんなときですか？

利用者さんが作業所にやってきて、笑顔で「また明日！」と言って帰って行った時です。作業所に来てよかったなあと思ってもらえることが、なによりも嬉しいです。また、本当にいろんな人との出会いふれあいがあり、それもこの仕事の醍醐味かと思えます。

ー 仕事で苦勞する点はどのようなことですか？

いろいろとあるのですが、今一番頭が痛いのは作業所内の整理整頓です。ピアには収納庫や押入れなどの収納スペースがないので、いろいろと工夫しながら、どんどん増えてくる荷物を保管しているのですが、雑然とした雰囲気があり、自分ではまだ納得がいていません。もっとうまく整理できないかと悩んでいます。事務所はもっとひどく、今は書類などでごったがえしています。

ー ピア下津作業所のPRを一言お願いします。

ピア下津作業所は、平成15年10月1日から精神に障害をもつ方の作業所として、海南市下津町で活動しています。作業所で作ったクッキーは、海南市の保育所で園児のおやつとして定期的に注文をいただいています。園児も安心して食べられる、無添加手作り優しい味のクッキーです。作業所はとても静かなところに位置しており、のんびりした雰囲気、春は下津町内全体にみかんの花の良い香りに包まれます。

ー 休日はどう過ごされていますか？

ショッピングに行ったり、映画を観たりして過ごしています。スノボも好きなのですが、この冬は残念ながら一度も行けませんでした。来年はいっぱい、スノボに行きたいな。

ー 今後の抱負を教えてください。

もっといろんなことを経験し学習して、知識と技術のある、頼れる人間になりたいです。また、いつでも元気で明るくありたいです。みんなが笑顔で集まってくる、そんな作業所にしていきたい！

ー 梅本さんから、次の方のご紹介をお願いします。

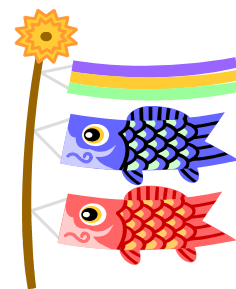
和歌山県共同作業所連絡会（わされん）つながりで知合った、南紀ひまわり作業所の日浦頼和さんを紹介します。似たような境遇でがんばっておられ、話しをさせていただくといつも勉強になります。こういうのは苦手なのですが…と言いながらも引き受けてくださった日浦さんに感謝いたします！よろしくをお願いします。

社会的ひきこもり 青年の集い

日時：毎月第4火曜日 午後1時～4時
場所：県精神保健福祉センター フレイルーム
内容：ミーティングやゲームなどを行います

社会的ひきこもり フリースペース

日時：毎週火曜日 午後1時～4時
※ 但し第4火曜日は除く
場所：県精神保健福祉センター フレイルーム
内容：居場所の提供をしています



編集後記

新年度、バタバタバタ……。あわただしく日が過ぎていく中で、1本の映画をみました。「サン・ジャックへの道」。フランスからスペインへ、美しい自然と文化遺産の溢れる巡礼路、聖地サンティアゴ（サン・ジャック）までの1500キロを歩く旅。“人生って捨てたもんじゃない”を実感しました。

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階
☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/>